

釧路市魚揚場の施設概要について

1. 概 要

本市経済の基幹である水産業の更なる発展を図るため、釧路港副港地区に約80億円を投じ、昭和55年に新漁港埠頭が完成いたしました。

ここに、昭和56年より国の「水産物流通加工拠点総合整備事業」の全国第1号として生鮮荷捌施設（第6魚揚場）を皮切りに各流通施設の建設を開始し、昭和61年3月末の「くしろ水産センター」の竣工により拠点整備事業が完了いたしました。

施設は大きく分けて魚揚場、セリ・入札・市場管理棟、くしろ水産センターの三つからなっております。

魚揚場は、釧路港副港に水揚げされる多種多様かつ大量の生鮮魚鮮度保持と荷捌きの迅速化を図り、水産物の効率的な流通や公正かつ安定的な価格形成を確保することを目的に設置されており、釧路市漁協と釧路魚市場㈱が市場を開設しております。

セリ・入札・市場管理棟は、大量に集中して水揚げされる漁獲物の迅速で公正な流通を確立するため、また、円滑な取引を推進するため生産者、卸売業者、仲買業者、運送業者等の情報交換、意思疎通の場を設けるとともに、作業従事者の環境改善を図ることを目的に設置したものであります。

くしろ水産センターは、安定的な水産物供給基地の機能発揮と活性化を図ることを目的に設置されたもので、現在、水産課のほかマリン・トポスクしろ、水産関係団体事務所、食堂・シャワー室等の福利厚生施設があります。

施設完成後これまでの間、水産都市釧路の漁業生産活動を下支えする施設としてその機能を十二分に発揮しており、今後も多様化してきている漁業形態、流通体制などに迅速に対応するために、施設の役割は益々重要なものになってきております。

2. 施設内容

名 称	構 造	延べ面積 (㎡)
副港魚揚場(右左翼棟)	鉄筋鉄骨 2 階建	9,048.36
副港第 2 魚揚場	鉄筋鉄骨平屋一部 2 階建	2,302.40
副港第 3 魚揚場	鉄筋コンクリート平屋建	1,712.02
副港第 6 魚揚場 (新漁港埠頭東側荷捌所)	鉄筋鉄骨コンクリート平屋建	4,888.25
副港第 7 魚揚場 (新漁港埠頭南側荷捌所)	鉄筋鉄骨コンクリート平屋建一部 3 階建	3,031.48
副港第 8 魚揚場 (新漁港埠頭西側荷捌所)	鉄筋鉄骨コンクリート平屋建	3,390.99
セリ・入札場及び市場管理事務所	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建	3,376.73
くしろ水産センター (総合管理センター)	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 5 階建	2,476.74
合 計		27,857.16

※ 建物の位置図、平面図は別紙参照

3. 委託先及び委託業務内容

- (1) 委託先 (平成 17 年度～19 年度 平成 20 年度～23 年度
平成 24 年度～26 年度、平成 27 年度～31 年度
令和 2 年度～6 年度)

一般社団法人 釧路水産協会

(釧路市浜町 3 番 18 号 くしろ水産センター内)

- (2) 委託事業内容

・本施設及び設備の維持管理に関する業務